

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

八本松病院におけるガス焚ボイラーおよびGHPの電気式高効率ヒートポンプへの転換による省エネ事業

排出削減事業者名： 医療法人社団 葵会

排出削減事業共同実施者名： 株式会社三井住友銀行

株式会社リサイクルワン

その他関連事業者名： 豊国工業株式会社

目次

- 1 排出削減事業者の情報
- 2 排出削減事業概要
 - 2.1 排出削減事業の名称
 - 2.2 排出削減事業の目的
 - 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法
 - 2.4 国内クレジット認証要件の確認
 - 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目
- 3 排出削減量活動期間
 - 3.1 プロジェクト開始日
 - 3.2 モニタリング対象期間
- 4 温室効果ガス排出削減量
 - 4.1 採用した排出削減方法論の情報
 - 4.2 活動量
 - 4.2.1 活動量・原単位
 - 4.2.2 活動量の採用根拠
 - 4.3 事業の範囲(バウンダリー)
- 5 モニタリング対象指標
- 6 モニタリング体制
 - 6.2 モニタリング対象のQA/QC
- 7 排出削減量の計算
 - 7.1 事業実施後排出量
 - 7.2 ベースライン排出量
 - 7.3 リークエージ排出量
 - 7.4 温室効果ガス排出削減量
- 8 省エネルギー量の予測
- 9 再生可能エネルギー利用量

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	医療法人社団 葵会
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	八本松病院
住所	広島県東広島市八本松東三丁目9番30号
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	株式会社三井住友銀行
排出削減事業共同実施者名	株式会社リサイクルワン
その他関連事業者(注)	
関連事業者名	豊国工業株式会社

(注) その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者
国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

2 排出削減事業概要

2.1 排出削減事業の名称

八本松病院におけるガス焚ボイラーおよびGHPの
電気式高効率ヒートポンプへの転換による省エネ事業

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、病院のGHPを高効率のEHPに更新し、エネルギー効率を改善することで、CO2を削減する。また、給湯設備については、高効率電気式給湯機を導入することによって、CO2の削減を図る。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

002:ヒートポンプの導入による熱源機器の更新
004:空調設備の更新

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2009 年 9 月 1 日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2010 年 1 月 1 日 ~ 2010 年 12 月 31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
002	ヒートポンプの導入による熱源機器の更新
004	空調設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

4.2.2 活動量の採用根拠

4.3 事業の範囲(バウンダリー)

002: 温水ボイラー、貯湯槽、搬送設備およびシャワー、カンなどの末端機器までの全てを範囲とする。

004: GHP(マルチ型・室内機及び室外機)を範囲とする。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合)変更理由
002-1	事業実施後電力使用量	kWh	138,831 エコキュート給湯機	電力量計による計測	
002-2	更新後のヒートポンプCOP		4.05	カタログ値(エコキュート機)	
002-3	更新前の熱源機器効率(原油換算)		77.60%	カタログ値(既設ボイラー)	
002-4	燃料単位発熱量当り炭素排出係数	t-C/GJ	0.01613	デフォルト値より算出	
002-5	電力の炭素排出係数	t-C/kWh	0.0000862	デフォルト値より算出	
004-1	事業実施後電力使用量	kWh	297,799 空調	電力量計による計測	
004-2	事業実施後のエネルギー単位発熱量	GJ/kWh	0.00881	デフォルト値より算出	
004-3	更新後のヒートポンプCOP		3.63	カタログ値の加重平均(空調)	
004-4	更新前のヒートポンプ二次COP		2.08	カタログ値の加重平均(空調)	

6 モニタリング体制

6.2 モニタリング対象指標のQA/QC

データの種類	QA/QC手順
活動量	
給湯年間電力消費量	(1)ヒートポンプ給湯機の消費電力量データを定期的に記録するロガーを設ける。 (2)院内の担当者が、定期的に記録したデータを電子媒体により取り出し、確認および保管する。
空調年間電力消費量	(1)空調設備の消費電力量データを定期的に記録するロガーを設ける。 (2)院内の担当者が、定期的に記録したデータを電子媒体により取り出し、確認する。
単位発熱量	
排出係数	
排出係数	(1)購入電力のCO2排出係数は、都度見直しをかけることとする。

7 排出削減の計算

7.1 事業実施後排出量(2010年1月1日～2010年12月31日)

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量
EL _{Pj} 138,831 kWh/年 給湯		0.0000862 t-C/kWh	43.9 t-CO ₂ /年
EL _{Pj} ̄油換算(kWh/年 空調		0.0000862 t-C/kWh	94.1 t-CO ₂ /年
EL _{PJ} (トータル)			138.0 t-CO ₂ /年

7.2 ベースライン排出量 (2010年1月1日～2010年12月31日)

活動量	単位単位発熱量	排出係数	CO2排出量
Q _{fuel, BL} 2,608 GJ/年 給湯		0.01613 t-C/GJ	154.3 t-CO ₂ /年
Q _{fuel, BL} 4,579 GJ/年 空調		0.01613 t-C/GJ	270.8 t-CO ₂ /年
EMBL			425.1 t-CO ₂ /年

7.3 リークージ排出量

活動量	単位単位発熱量	排出係数	CO2排出量
LE			

7.4 温室効果ガス排出削減量 (2010年1月1日～2010年12月31日)

項目		記号	
002 給湯	ベースライン排出量 (7.2)	EMBL給湯	154.3
	事業実施後排出量 (7.1)	EL _{Pj} 給湯	43.9
	リークージ排出量 (7.3)	LE	0.0
	温室効果ガス排出削減量(給湯)		ER給湯
004 空調	ベースライン排出量 (7.2)	EMBL空調	270.8
	事業実施後排出量 (7.1)	EL _{Pj} 空調	94.1
	リークージ排出量 (7.3)	LE	0.0
	温室効果ガス排出削減量(空調)		ER空調
全体	ベースライン排出量 (7.2)	EMBL(トータル)	425.1
	事業実施後排出量 (7.1)	EL _{Pj} (トータル)	138.0
	リークージ排出量 (7.3)	LE	0.0
	温室効果ガス排出削減量(トータル)		ER(トータル)

8 省エネルギー量

原油換算(kL)		
ベースライン(①)	実績(②)	ベースライン-実績 (①-②)
185.4	109.9	75.5

9 再生可能エネルギー利用量

	エネルギー使用量	熱量換算(GJ)	原油換算(kl)
	(実績)	(実績)	(実績)